事例番号:380201

原 因 分 析 報 告 書 要 約 版

産 科 医 療 補 償 制 度
原因分析委員会第七部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 41 週 0 日　予定日超過のため誘発目的に入院

4) 分娩経過

妊娠 41 週 1 日

2:00- 陣痛発来

4:00- 続発性微弱陣痛のためｵｷｼﾄｼﾝ注射液による陣痛促進開始

9:13　胎児機能不全のため吸引分娩にて児娩出

5) 新生児期の経過

⑴ 在胎週数:41 週 1 日

⑵ 出生時体重:3300g 台

⑶ 臍帯動脈血ｶﾞｽ分析:pH 7.25、BE -3mmol/L

⑷ ｱﾌﾟｶﾞｰｽｺｱ:生後 1 分 9 点、生後 5 分 10 点

⑸ 新生児蘇生:実施なし

⑹ 診断等:

生後 4 日 退院

生後 5 日 哺乳力の低下、喘鳴を伴う呼吸不穏、活気不良を認め入院、小脳出血の診断

⑺ 頭部画像所見:

生後 5 日 頭部 CT で小脳全域に出血による急性期の高信号域と第三脳室、第四脳室および両側脳室内に出血の所見を認める

6) 診療体制等に関する情報

⑴ 施設区分:診療所

⑵ 関わった医療ｽﾀｯﾌの数

医師:産科麻酔科医 1 名

看護ｽﾀｯﾌ:助産師 1 名、看護師 1 名、准看護師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

⑴ 脳性麻痺発症の原因は、生後 5 日までに生じた児の頭蓋内出血であると考える。

⑵ 頭蓋内出血の原因は不明である。

3. 臨床経過に関する医学的評価(2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

⑴ 妊娠 41 週 0 日に予定日超過で分娩誘発目的に入院とし、子宮収縮薬の使用について文書による説明をし、同意書を取得したことは、いずれも一般的である。

⑵ 妊娠 41 週 1 日に続発性微弱陣痛のため陣痛促進としてｵｷｼﾄｼﾝ注射液投与を開始したこと、投与方法(開始時投与量、増量法)および投与中の分娩監視方法は、いずれも一般的である。

⑶ 胎児機能不全と判断し吸引分娩とした際の要約および実施方法は、いずれも一般的である。

⑷ 臍帯動脈血ｶﾞｽ分析を行ったことは一般的である。

3) 新生児経過

⑴ 出生後から退院までの新生児管理は一般的である。

⑵ 生後 5 日に児の哺乳不良であるとの連絡に対して新生児が受診可能な医療機関を紹介したことは一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

⑴ 学会･職能団体に対して

なし。

⑵ 国･地方自治体に対して

なし。